

モンゴル自立生活センター強化プロジェクト (2023年11月～2026年11月)

モンゴルの障害者にも「自立生活」という選択肢を！

- **実施団体**：特定非営利活動法人メインストリーム協会
- **相手国**：モンゴル国
(ウランバートル市)
- **現地カウンタート**：
Universal Progressセンター
- **協力内容**：



- ・ 自立生活への理解を促進する研修および自立センターの運営に関する研修の実施。
- ・ 介助者および介助者コーディネーターの養成、介助者と障害者のマッチングシステムの作成。
- ・ 障害者やその家族のためのピアカウンセリングおよび障害者の自立生活プログラムの実施。
- ・ 啓発活動を通じた障害者権利への理解を促進。



■ 団体のこれまでの取り組み

- ・ 障害者リーダー育成事業の研修生受け入れ、アジア各国の自立生活センター立ち上げに関わる。
- ・ JICA地域別研修「中米・カリブ地域障害者自立生活」を実施（2008）
- ・ JICA草の根事業「コスタリカ自立生活推進プロジェクト」（2012～2017）、「障害者の社会支援システム構築プロジェクト」（2017～2023）を実施。

■ 事業実施の背景：

- ・ 近年モンゴル政府は障害者施策に対して積極的に取り組んでいる。しかし、障害者の自立生活や介助派遣サービスに関しては行政及び一般市民の認知は十分ではなく、他の障害者施策と比べ、政策面・予算面で進捗が遅れている。

自立生活支援の課題への対応

- **課題①** 自立生活体験の具体的な実施体制の整備
- **課題②** 障害者が相談できる窓口体制の整備
- **課題③** 自立生活センターの管理体制の強化
- **課題④** 介助者と障害者のマッチングシステムの整備

【本事業を通じた課題への対応】

- 現地障害者向けの自立生活プログラムを実施。
- ピアカウンセリングを実施。
- カウンタートであるUniversal Progressセンターへの運営に関わる研修・自立生活についての研修を実施。
- 本邦研修を通じて、モンゴル研修員が日本の自立センターを見学し、研修を受ける。
- 介助者養成研修を実施。
- 介助者と障害者のマッチングシステムを構築。



期待される事業の波及効果

！ モンゴルと日本間の障害者自立支援事業に係る学び合い

- ・ 本事業での気づきを日本の制度や支援体制にも反映させて、地域共生社会の活性化に繋げる。
- ・ 団体が実施する地域交流や、日本の自立生活センター協議会のセミナー等で、成果発表や体験共有を行い、国際協力の理解促進を目指す。